## エコアクション21

# 環境活動レポート

令和4年度(令和4年1月~令和4年12月) 令和5年 7月29日 作成

株式会社 静 勝

## 1. 事業内容

1. 事業所名及び代表者名

株式会社 静 勝 代表取締役 勝亦 豪志 設立年月日 平成12年9月7日 資本金 2,000万円

#### 2. 所在地

本社事務所・リサイクルセンター 静岡県御殿場市保土沢1157-205

東京営業所 東京都中央区銀座8-19-3 銀座竹葉亭ビル5階 横浜営業所 神奈川県横浜市中区吉田町72サリュートビル703

車両置場 静岡県御殿場市永塚803-1

3. 環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者:推進リーダー 久坂 哲也環境管理担当者:活動事務局 久坂 哲也

連絡先 TEL: 0550-80-1700 FAX: 0550-80-1702

e-mail:info@seisho-2000.co.jp

#### 4. 事業の内容

産業廃棄物収集運搬業及び処分業(中間処理場) 総合建設業(建物解体工事、土木工事、建築工事等) リサイクルタイル・エコサンドの販売 その他(一般貨物運送事業)

#### 5. 事業規模

活動規模	単位	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
産業廃棄物処理量	t	31,529	50,446	45,377	50,334	40,124
産業廃棄物収集運搬量	t	58,059	92,894	83,558	108,625	95,247
再資源化量	t	27,152	43,527	39,206	41,675	34,850
売上高	百万円	2,634	4,229	3,804	4,964	3,957
従業員	人	54	55	57	69	75
床面積	m2	1,622	1,622	1,622	1,622	2,000

#### 6. 対象範囲

本社事務所・リサイクルセンター、車両置場、東京営業所、横浜営業所

#### 7. 取得認可·許可

#### ①産業廃棄物収集運搬業許可

許可者	許可番号	許可の年月日	許可の有効期限	取扱品目
静岡県知事	第02201098205号	平成29年9月5日	令和9年9月4日	燃え殻、汚泥、廃油、廃アルカリ、
神奈川県知事	1404098205	平成30年7月3日	令和10年6月26日	廃プラスチック類、紙くず、木くず、
東京都知事	第13-00-098205号	平成27年5月30日	令和7年5月29日	繊維くず、動植物性残渣、金属くず、
千葉県知事	第1200098205号	平成27年6月7日	令和7年6月6日	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、
埼玉県知事	1101098205	平成27年6月22日	令和7年6月21日	がれき類
群馬県知事	1000098205	平成27年6月29日	令和7年6月28日	※特別管理産業廃棄物除く
栃木県知事	900098205	令和4年5月9日	令和9年5月8日	1
茨城県知事	00801089205	令和3年10月8日	令和8年7月10日	1
宮城県知事	第0400098205号	平成29年8月1日	令和9年7月31日	7
岩手県知事	003000098205	令和5年5月9日	令和10年5月8日	1
山梨県知事	1900098205号	令和2年6月21日	令和7年6月20日	1
長野県知事	2009098205	令和4年4月3日	令和9年4月2日	1
愛知県知事	第02300098205号	令和2年7月20日	令和7年7月19日	7
三重県知事	第02400098205号	平成30年9月30日	令和5年9月29日	1
滋賀県知事	第02501098205号	平成30年8月6日	令和5年8月5日	←令和5年7月27日申請
奈良県知事	第02900098205号	平成30年10月2日	令和5年10月1日	1
大阪府知事	02700098205	令和1年8月14日	令和6年8月13日	1
兵庫県知事	第02804098205号	平成31年3月25日	令和6年3月24日	1
広島県知事	第3400098205号	平成31年3月12日	令和6年3月11日	1

#### ②産業廃棄物処分業許可(処理能力、処理方式、処理工程図は別紙のとおり)

許可者	許可番号	許可の年月日	許可の有効期限	取扱品目
静岡県知事	優良 第02221098205号	令和3年1月15日	令和10年1月14日	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、 がれき類、木くず、廃プラスチック類、 金属くず、紙くず、繊維くず

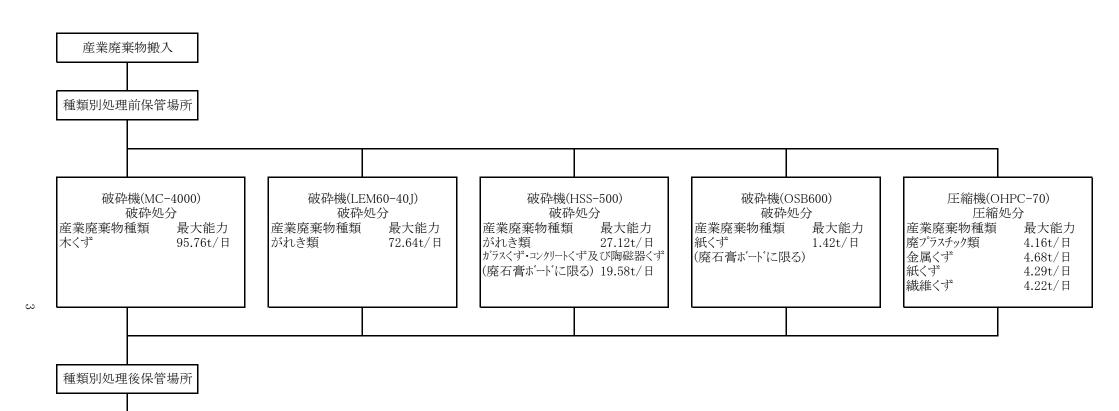
#### ③建設業許可

許可者	許可番号	許可の年月日	許可の有効期限	建設業の種類
国土交通大臣	(特-30)第27331号	平成30年12月19日	令和5年12月18日	土木、建築、大工、左官、とび・土工、石、 屋根、タイル・れんが・プロック、鋼構造物、 鉄筋、ほ装、しゅんせつ、板金、ガラス、 塗装、防水、内装仕上、熱絶縁、建具、 水道施設、解体 工事業

#### ④一般貨物自動車運送事業許可

許可者	許可番号	許可の年月日
中部運輸局長	中運自貨振第954号	平成12年12月22日

搬



#### 8. 運搬車両・重機 種類及び台数

種類	台数
28tトレーラーダンプ	4 台
25tアームロール(45m <sup>3</sup> 級)	2 台
22tアームロール(30㎡級)	1台
8tユニック付アームロール	1台
4tアームロール	8台
3tアームロール	2 台
10tダンプ	6 台
8tダンプ	1 台
4t深箱ダンプ	1 台
3tダンプ	1 台
2tダンプ	1 台
25tトレーラーチップ車	5 台
10tチップ車	4 台
10tセーフティローダー	1 台
7tユニック付セーフティローダー	1台
28t重機運搬用トレーラー	3 台
3.4m <sup>3</sup> ロングバックホウ	2 台
1.6㎡ロングバックホウ	3 台
1.4m <sup>3</sup> ロングバックホウ	1台
1.2m <sup>3</sup> ロングバックホウ	2 台
1.2m <sup>3</sup> バックホウ	2 台
0.7 m³バックホウ	15 台
0.45 m バックホウ	4 台
0.25 m バックホウ	6 台
1.2m³タイヤショベル	2 台
1.0 m³ショベルローダー	1 台
0.45 m³フォーク	2 台
0.25 m <sup>3</sup> フォーク	3 台
自走式破砕機	3 台
금 計	88 台

総車両台数	42 台
総重機台数	46 台

<sup>※</sup>産業廃棄物収集運搬・処理料金 電話等にて事前打ち合せ

### 2. 環境経営方針

#### 【基本理念】

私たちは身のまわりの環境を保護するため一人一人が環境保全の重要性を認識し、 具体的な行動を実践します。

当社は、産業廃棄物処分場「リサイクルセンター」を自社保有しており、解体から処分までワンストップで対応できる事から、一貫した管理体制のもと環境にやさしい解体作業を実践します。この行動は、産業廃棄物処理及び建設業等関連する企業及び諸団体にも共鳴を求めながら、以下の環境方針を定めます。

#### 【行動指針】

当社は、産業廃棄物処分業(収集運搬業及び中間処分業)及び総合建設業 (建物解体工事・土木工事・建築工事)を営んでいます。

環境基本理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷軽減と環境に配慮した継続的な 活動を展開致します。

- 1. 環境関連法規(廃棄物処理法等含)の遵守 直接業務に関連する廃棄物関連法を遵守しつつ、関連法規等の最新情報を常に収集する 事に努めます。
- 2. 環境負荷低減活動の取り組みを行い、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減に努めます。
- 1) 電気、軽油、ガソリン、廃棄物、水道使用量の削減への取組み
- 2) グリーン購入の実施
- 3. 環境に配慮した製品の取り組み 環境に配慮した製品の調達とリサイクル品の製造及び開発に努めます。
- 4. 環境に配慮した施工の取り組み 現場作業での産業廃棄物の徹底した分別や防塵の為の養生及び散水、低騒音低排出ガスの 重機の使用等環境に配慮した施工に努めます。
- 5. 環境方針は文書化し、当社で働く人又は当社のために働く全ての人に周知させることにより、環境保全意識の向上に努めます。

制定 平成21年10月 1日 改定 令和3年 7月 16日 株式会社 静 勝 代表取締役 勝亦 豪志

### 3. 環境目標とその実績

#### 環境目標

#### 1.中期目標

単位   単位   1月~12月   1月~12月   日標   日標   日標   日標   実績   実績   実績   実績   実績   実績   実績   実								
実績 実績 実績 実績   実績   実績   では、			2017年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
大額 夫額 大額   大額   大額   35年前間	項目	単位	1月~12月	1月~12月	1月~12月	目標	目標	目標
2017年度を基準に2022年度までに2%削減 Kg-Co2 376,242 381,545 338,172 378,874 376,394 373。 ①購入電気の削減 KWH 90,975 105,003 83,707 104,268 103,585 102。 ②軽油の削減 L 89,208 102,963 82,080 102,242 101,573 100。 ③ガソリンの削減 L 45,283 47,935 38,213 47,599 47,288 46。 廃棄物のリサイクル率向上 ①産業廃棄物リサイクル率 % 85.8 86.8 86.9 87.1 87.3 8 2017年度を基準に2022年度までに1%向上 総排水量の削減 L 791 918 732 915 912 518年度を基準に2022年度までに1%削減 L 791 11 11 11 11 11 11 11			実績	実績	実績			2021年を基準に 3ヵ年計画
①購入電気の削減 2017年度を基準に2022年度までに2%削減 2017年度を基準に2022年度までに2%削減 2017年度を基準に2022年度までに2%削減 2017年度を基準に2022年度までに2%削減 2017年度を基準に2022年度までに2%削減 3がソリンの削減 2017年度を基準に2022年度までに2%削減 45,283 47,935 38,213 47,599 47,288 46, 廃棄物のリサイクル率向上 ①産業廃棄物リサイクル率 % 85.8 86.8 86.9 87.1 87.3 82017年度を基準に2022年度までに1%向上 総排水量の削減 2018年度を基準に2022年度までに1%削減 2018年度を基準に2022年度までに1%削減 2018年度を基準に2022年度までに1%削減 2018年度を基準に2022年度までに1%削減 2018年度を基準に2022年度までに1%削減 2018年度を基準に2022年度までに1%削減 2018年度を基準に2022年度までに1%削減 2018年度を基準に2022年度までに1%削減 2017年度を基準に2022年度までに1%削減 2018年度を基準に2022年度までに1%削減 2017年度を基準に2022年度までに1%削減 2017年度を基準に2022年度までに2%削減 2017年度を基準に2022年度までに2%削減 2017年度を基準に2022年度までに2%削減 2017年度を基準に2022年度までに2%削減 2017年度を基準に2022年度までに2%削減 2017年度を基準に2022年度までに2%削減 2017年度を基準に2022年度までに2%削減 2017年度を基準に2022年度までに3%削減 2017年度を基準に2022年度までに1%削減 2017年度を基準に2022年度を1を202	二酸化炭素排出量の削減	Va-Can	276 249	201 545	990 179	970 074	276 204	373,914
2017年度を基準に2022年度までに2%削減   WH   90,975   105,003   83,707   104,268   103,585   102   (②軽油の削減 2017年度を基準に2022年度までに2%削減   L   89,208   102,963   82,080   102,242   101,573   100   (③ガソリンの削減 2017年度を基準に2022年度までに2%削減   L   45,283   47,935   38,213   47,599   47,288   46   2017年度を基準に2022年度までに2%削減   85.8   86.8   86.9   87.1   87.3   8   2017年度を基準に2022年度までに1%向上   総排水量の削減 2018年度を基準に2022年度までに1%削減   L   791   918   732   915   912   11   11   11   11   11   11   1	2017年度を基準に2022年度までに2%削減	Ng-C02	310,242	361,343	330,172	310,014	370,394	373,914
2017年度を基準に2022年度までに2%削減   2017年度を基準に2022年度までに2%削減   L   89,208   102,963   82,080   102,242   101,573   100,0	①購入電気の削減	1233/11	00.075	105.000	02 707	104 969	102 505	100 000
2017年度を基準に2022年度までに2%削減   L   89,208   102,963   82,080   102,242   101,573   100   (3 ガソリンの削減   2017年度を基準に2022年度までに2%削減   L   45,283   47,935   38,213   47,599   47,288   46,283   47,935   38,213   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   46,283   47,599   47,288   46,283   47,935   47,599   47,288   47,935   47,599   47,288   47,935   47,599   47,288   47,288   47,935   47,599   47,288   47,288   47,383   47,599   47,288	2017年度を基準に2022年度までに2%削減	KWH	90,975	105,003	83,707	104,208	105,585	102,903
2017年度を基準に2022年度までに2%削減   2017年度を基準に2022年度までに2%削減   L   45,283   47,935   38,213   47,599   47,288   46,2017年度を基準に2022年度までに2%削減   E乗物のリサイクル率   85.8   86.8   86.9   87.1   87.3   8   2017年度を基準に2022年度までに1%向上   総排水量の削減   L   791   918   732   915   912   2018年度を基準に2022年度までに1%削減   L   791   11   11   11   11   11   11   1	②軽油の削減	ī	90 209	109 069	99 090	109 949	101 579	100.004
2017年度を基準に2022年度までに2%削減     L     45,283     47,935     38,213     47,599     47,288     46       廃棄物のリサイクル率向上     (①産業廃棄物リサイクル率     85.8     86.8     86.9     87.1     87.3     8       2017年度を基準に2022年度までに1%向上     総排水量の削減     L     791     918     732     915     912       瓦リサイクル(リサイクルタイル54)の販売推進     t     11     11     11     11     11     11     11     11	2017年度を基準に2022年度までに2%削減	L	09,200	102,903	02,000	102,242	101,575	100,904
2017年度を基準に2022年度までに2%削減   廃棄物のリサイクル率向上   ①産業廃棄物リサイクル率   %   85.8   86.8   86.9   87.1   87.3   8   2017年度を基準に2022年度までに1%向上   総排水量の削減   L   791   918   732   915   912   2018年度を基準に2022年度までに1%削減   L   11   11   11   11   11   11   11	③ガソリンの削減	ī	45 909	47 025	90 919	47 500	17 900	46,976
①産業廃棄物リサイクル率 % 85.8 86.8 86.9 87.1 87.3 8 2017年度を基準に2022年度までに1%向上 総排水量の削減 L 791 918 732 915 912 瓦リサイクル(リサイクルタイル54)の販売推進 t 11 11 11 11 11 1	2017年度を基準に2022年度までに2%削減	L	40,200	47,933	30,213	41,099	41,200	40,970
2017年度を基準に2022年度までに1%向上 総排水量の削減 2018年度を基準に2022年度までに1%削減 瓦リサイクル(リサイクルタイル54)の販売推進 t 11 11 11 11 11 1	廃棄物のリサイクル率向上							
総排水量の削減 L 791 918 732 915 912 2018年度を基準に2022年度までに1%削減 L 791 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	①産業廃棄物リサイクル率	%	85.8	86.8	86.9	87.1	87.3	87.8
2018年度を基準に2022年度までに1%削減     L     791     918     732     915     912       瓦リサイクル(リサイクルタイル54)の販売推進     t     11     11     11     11     1	2017年度を基準に2022年度までに1%向上							
2018年度を基準に2022年度までに1%削減	総排水量の削減	ī	701	010	720	015	019	909
	2018年度を基準に2022年度までに1%削減	L	791	918	132	915	912	909
グリーン購入 グリーン購入は全て定常化されているので目標値を設定せずに引き続き購	瓦リサイクル(リサイクルタイル54)の販売推進	t		11	11	11	11	11
	グリーン購入		グリーン購入	、は全て定常化	(されているの	で目標値を設	定せずに引き	続き購入する
環境に配慮した施工 環境配慮施工 に関する に対している に対し に対している に対しに対し に対しに対し に対しに対しに対し に対しに対しに対しに対しに対しに対している に対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対している に対しに対しに対しに対しに対	環境に配慮した施工		環境配慮施工	環境配慮施工	環境配慮施工	環境配慮施工	環境配慮施工	環境配慮施工

#### 2.年度目標/実績

項目	単位	2022年 目標	2017年度基準 に対する 目標値(%)	2022年 実績	2017年度基準 に対する 実績値(%)	評価
二酸化炭素排出量の削減	Kg-Co2	368,717	-2.00%	338,172	89.88%	0
①購入電気の削減	KWH	89,156	-2.00%	83,707	92.01%	0
②軽油の削減	L	87,424	-2.00%	82,080	92.01%	0
③ガソリンの削減	L	44,377	-2.00%	38,213	84.39%	0
廃棄物のリサイクル率向上 ①産業廃棄物リサイクル率	%	86.8	+1.00%	86.9	101.28%	0
総排水量の削減	L	783	-1.00%	732	92.54%	0
瓦リサイクル(リサイクルタイル54)の販売推進	t	11		11		0
グリーン購入		購入		購入		0
環境に配慮した施工		環境配慮施工		環境配慮施工		0

上記、二酸化炭素排出量換算係数 R.2年度実績 東京電力エナジーパートナー(株) (kg-Co2/kWh) Co2=0.451

#### 取組結果の評価

- ・二酸化炭素排出量については電気、燃料使用方法の見直しを行い目標を達成した。
- ・電気については産業廃棄物処理場の労働時間の見直しを実施した為、使用量の減少に繋がった。
- ・軽油、ガソリンについてはアイドリングストップや使用重機の選定の見直し、遠方の現場の場合、通勤するのではなく宿泊にした為、 使用量の減少に繋がった。
- ・廃棄物のリサイクル率向上については分別仕分けを徹底して行った結果、向上に繋がった。
- ・総排水量については散水方法の見直しを行った為、目標達成した。

#### 未達成項目に対する今後の方針(是正処置含む)

- ・LED化の検討
- ・運転経路の見直し
- アイドリングストップの実施
- ・ハイブリットカー及びハイブリット重機導入の検討
- ・産業廃棄物処理場の労働時間、人員配置の見直し。

#### 環境目標管理表

2142 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -														
項目	単位	22年/1月	22年/2月	22年/3月	22年/4月	22年/5月	22年/6月	22年/7月	22年/8月	22年/9月	22年/10月	22年/11月	22年/12月	合計
電力	KWH	7,087	7,033	6,830	6,971	6,901	7,042	7,103	7,085	7,039	6,971	6,619	7,026	83,707
軽油	L	6,721	6,790	6,858	6,927	6,776	6,860	7,063	6,652	6,864	6,865	6,860	6,844	82,080
ガソリン	L	3,174	3,140	3,182	3,220	3,177	3,183	3,221	3,180	3,199	3,186	3,180	3,171	38,213
廃棄物リサイクル率	%	86.7	86.8	86.7	87.1	87.1	86.8	86.7	86.9	87.2	86.9	86.8	86.5	86.9
総排水量	L	61	61	61	62	57	57	66	66	65	61	58	57	732

## 4. 環境活動計画と取り組み活動評価と次年度の取り組み内容

	活動內容	評価	
購入電力	・高負荷運転を避ける・インバーターの導入	プラント機械電源のON、OFFを頻繁に繰り返す事は不可能な為、 負荷を低減させることで電気量の節約は出来た。 今後は、高効率機器の導入に努める。	0
ガソリン 使用量	<ul><li>・エコドライブの実施</li><li>・ルートの再検討</li></ul>	営業用車両のアイドリングストップ等エコドライブを徹底したので、 消費量は減少した。 今後、更なる消費量の減少に努める	0
軽油 使用量	<ul><li>・エコドライブの実施</li><li>・ルートの再検討</li></ul>	車両については、収集運搬ルートの見直しを行い、引き続き 使用量の減少に努める。 重機等、スロットルを8割ぐらいに絞ることを徹底して行い、引き続き 消費量の減少に努める。	0
水使用量	•節水表示	業務上の無駄となる様な事は現在のところ見当たらないので、防塵散水は雨水を利用する。	0
廃棄物 リサイクル率	・選別方法の高効率化 ・設置済機器のレイアウト変更	分別方法等の更なる教育を行い効率の向上を目指す。	0
グリーン 購入	<ul><li>・印刷済用紙の裏面利用促進</li><li>・紙から電子化を可能な限り実施する</li></ul>	事務用品購入の際、グリーン購入を進めている。 引き続き現状を維持する。	0
瓦リサイクル	・瓦リサイクル(リサイクルタイル54) の普及、販売促進	造園業者・個人から高評価を得ている為、更なる普及・販売に 努める。	0
環境に配慮した施工	•仕様書遵守	低排出ガス、低騒音重機を使用した。 産業廃棄物の分別を徹底した。日々工事完了時、清掃を行った。 着工前、近隣への挨拶を行い工事への理解を求めた。 上記については、引き続き実施して行く。	0

#### 環境活動計画(前年度及び今年度)

			スケジュール										
環境目標	活動項目	担当部署	2022年						2023年				実施頻度
			L月 2月	3月 4月	月 6月 7月	8月 9月	0A 11A 12A	L月 2月	3月 4月	5月 6月 7	月 8月 2月 1	0A 11A 12A	
	<ul><li>①未使用照明の消灯</li></ul>	- 総務部					3					$\rightarrow$	毎日実施
# + 泰士の知識	②不使用パソコン機器の電源OFF	•東京営業所					3					$\rightarrow$	毎日実施
<b>幕</b> 入電力の削減	③エアコンの温度管理 冷房28℃、暖房20℃	・横浜営業所		3			3		$\rightarrow$		$\rightarrow$	$\rightarrow$	使用時
	④不使用機械の電源OFF	リサイクルセンター					13					$\rightarrow$	使用時
	①エコドライブの推進						3					$\rightarrow$	毎日実施
軽油、ガソリンの削減	②車両の整備、タイヤ空気圧の点検						13					$\Rightarrow$	適宜
	③走行ルートの検証	工事部 リサイクルセンター					3					$\rightarrow$	適宜
	④ 過積載禁止						3					$\rightarrow$	毎日実施
	⑤ 重機、車両のアイドリングストップ						113					<del></del>	使用時
廃棄物リサイクル率向上	①廃棄物の分別の徹底	工事部 リサイクルセンター					3					>	毎日実施
	①節水の周知徹底	始游斯· 東京包用牙· 投资包用牙					13					<del></del>	毎日実施
総排水量及び水使用量の削減	②散水時の雨水の再利用	工事部 リサイクルセンター					3					<del>     </del>	使用時
File 25 a a #F	①販売の強化	リサイクルセンター					13					$\rightarrow$	随時
<b>瓦リサイクルの推進</b>	②整地時の利用推進	工事部					13					$\rightarrow$	適宜
ガリーン購入励行	①事務用品等エコ商品の購入推進	经资格· 東京首用牙· 投资首用牙					3						適宜
環境に配慮した施工	①低騒音、低振動重機の使用						13					$\rightarrow$	使用時
	②産業廃棄物の分別の徹底	工事部					# 13					$\rightarrow$	毎日実施
	③近隣への挨拶	リサイクルセンター					##3					$\Rightarrow$	適宜
	④ 道路清掃						1 3					$\rightarrow$	毎日実施



## 5. 対象法規制リストと遵守

N				遵守評価	
法規制等の名称	該当する要求事項	該当項目·項目	届出·報告先	評価項目	結果
廃棄物処理法	《産業廃棄物》 ・産業廃棄物委託 業者との契約(12条) ・処理基準の遵守 60cm×60cm以上の 表示(12条) ・飛散、浸透防止、 衛生管理(12条) ・マニフェストの 集計、報告(12条の3)	ガラスくず・コンクリートくず及び 陶磁器くず、がれき類、紙くず (廃石膏ボードに限る)、 木くず、廃プラスチック類、 金属くず、紙くず、繊維くず	知事へ届出	契約書許可証	0
			知事へ報告	・マニフェスト管理 ・紙ペース及び電子 報告については、 令和4年6月30日に 報告済み	0
	処理困難通知制度 (14条の13、14条の 14、14条の4の13、 14条の4の14		委託者へ通知	書面で10日以内	該当なし
労働安全衛生法	解体・改修工事に 伴う「石綿等」の 除去作業 (石綿障害予防規則) (8条)	「石綿等(石綿及び重量比0.1%超 含有物)使用建築物等」の飛散性 及び保温材等の解体、 封じ込め・囲い込みを含む 除去作業	レベル1・2 労働基準監督署	作業計画測定記録	0
			レベル3 知事へ届け出		
建設リサイクル法	新築工事及び解体改修工事 【特定建設資材】 ・コンクリート(プレキャスト 鉄筋コンクリート版を含む) 木材、アスファルトコンクリート (16条)	•解体工事 80㎡以上	都道府県知事	・発注者への書面による計手するに ・工事者前項目の平面による計手がでに ・ア日事府は一次のでででででででででででででででいる。 ・発注を事にはまるではなる。 ・分別資源というでは、 ・の使用 ・再生資源の使用	0

評価日 令和5年7月29日

				遵守評価				
法規制等の名称	該当する要求事項	該当項目·項目	届出·報告先	評価項目	結果			
オフロード法	協力会社の持込み 建設機械など(28条)	ブルドーザ、クローラクレーン、 くい打ち機、タワークレーン、 ドリルジャンボなど 協力会社の持込み建設機械など		•適合証明	0			
浄化槽法	法定点検(11条) 保守点検、清掃 (10条)	プラント浄化槽	都道府県知事の 指定検査機関	·法定点検 ·保守点検、清掃	0			
道路交通法			公道を使用する 全ての車両	・違反の有無	0			
自動車Nox・PM法	車両の適合	産業廃棄物収集運搬車両	使用する 該当車両	・届出の有無	0			
消防法	軽油の貯蔵	指定危険物貯蔵所の届出 (第11条) 定期点検の実施、記録の保存 (第14条)	地域消防本部	・届出の有無 ・記録の保存	0			
フロン排出抑制法	第一種特定製品の 設置の有無(42条) 特定製品を廃棄及 び再利用や整備を する場合、登収され たフロン類回製務、充 つ引き渡し義務、充 量を国に報告する義 務がある。(2条、4 条、18条の2)	エアコン	発注者	<ul><li>・設置の有無</li><li>・記録の保存</li><li>・知事の登録写しと引渡証の保管</li></ul>	0			
当社は環境法令上の違反はない								
当社は環境	当社は環境法令上の訴訟はない							

評価日 令和5年7月29日

## 6. 代表者による全体の評価と見直し結果

・会社をあげてエコアクション21に取組み、電機や燃料の使用量削減や節水等目標に掲げ取り組み目標達成となった。

今後は、更なる節約を目標として車両や重機を含めエコドライブを徹底する。

- ・産業廃棄物のリサイクル率を向上を目標とし、リサイクルタイルの普及、販売促進に 努める。
- ・設備については、今年度も入替えの予定が有る為、高効率なものと順次入れ替えを 検討していきたい。

令和5年7月29日

株式会社 静 勝 代表取締役 勝亦 豪志

①環境経営方針 改定の必要なし

②環境目標 大型工事の受注が続いているので引き続き燃料の節約等徹底する事

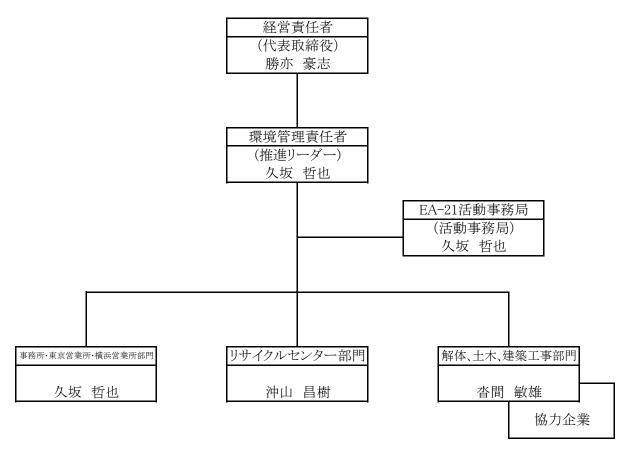
③環境活動計画 引き続き廃棄物の分別を徹底しリサイクル率の向上に努める事。

又、重機は低排出ガス及び低騒音のものを使用する事。

④実施体制の見直し 各担当部署の責任者指示のもと目標実施に努める事。

### 環境経営体制

### 株式会社 静 勝 環境管理組織図



#### 経営責任者

- ①環境経営全般の責任と権限
- ②環境方針の作成と社員への周知
- ③全体の評価と見直し
- ④実施体制の構築
- ⑤経営における課題とチャンスの明確化

#### 環境管理責任者

- ①環境経営活動の推進
- ②環境目標及び環境計画の作成
- ③環境経営推進会議の実施
- ④経営者への進捗報告

#### EA-21活動事務局

- ①各部門のデータ集計
- ②活動計画の実績管理
- ③環境負荷・環境への取り組みの自己チェック
- ④環境管理責任者補佐
- ⑤法規制最新版管理
- ⑥文書・記録の管理

#### 各部門責任者

- ①環境計画の実施
- ②月別部門データの集計
- ③問題点の把握と是正の実施
- ④推進会議の出席
- ⑤従業員教育